

## 会長メッセージ

# 「我が道を貫く」

秋天爽快な好季、新型コロナも第七波で感染者数が高止まりのままですが、政府はあくまで経済・社会活動との両立を目指し、行動制限をしない方針を貫き通し、殊更暑かった夏が終わりました。吟界もようやく落ち着き、感策対策を施しながらコロナとの両立を図り、諸行事を続けてまいりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

こんな中、私ごとで恐縮ですが、この夏にがんに侵されていることが判明し、已む無く一時休暇を頂き、常務理事以下事務局皆様の暖かいご理解と、執行役員である副会長の皆様のご支援を頂きながら、自宅療養に専念、短期入院と抗がん剤投与のサイクルを繰り返しております。私は会長就任以来「人生百年時代」を健康で過ごすためにも吟詠活動が一番と信じ、皆様にも呼び掛けて参りました。特に前回夏号では、「コロナ禍で高齢者の外出自粛が続くと、運動習慣がなくなり、活動が縮小して、急激に体力が低下するばかりか、認知機能が落ちたり、意欲の低下が進み、一気に老化が進む」という話を紹介し、これらを解決するためにも、吟詠活動が一番の対策と申し上げまし



総本部長 地藏 哲皚

たが、こうして自分自身が心ならずも休暇を余儀なくされ、活動休止の期間が長くなると、足腰の筋肉の低下、喉（声帯）舌等、あらゆる筋肉が低下し、体力の衰えを痛感、これまで健康で吟詠活動を続けていたことの有難さを身に染みて感じております。皆様も一層健康に留意され、これからの教室での仲間との時間を大切にし、吟詠活動を長く楽しんでいただきたいと改めて強く思います。

幸い私も、最近は少し落ち着いてきましたので、テレワークやオンラインで理事会に出席するなどして、かろうじて責務を果たしております。

私たちは歴史と伝統のある関西吟詩の灯を守り、一年後に迎える創立九十周年大会を意義ある大会にするために、昨年来呼びかけている「一万人復活活動」に一層力を入れてください。今、私自身は会長として十分な活動が出来ず忸怩たる思いであります。この道を「わが道」と心得これからも粉骨努力をして参ります。皆様方も今一度、周りへの「一人一声」の声掛け運動を継続し再入会・新入会促進への一層のご尽力をお願い致します。